

# ASA に関する FAQ : JPN トンネルを介して送信される syslog に対して、どうすれば SAS の送信側インターフェイスを指定できますか。

## 目次

### [概要](#)

[Q. どのように VPN トンネルに送信される syslogs のための ASA ソースインターフェイスを規定できますか。](#)

### [関連情報](#)

## 概要

この資料に Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス ( ASA ) ソフトウェア設定する方法を ( ASA ) LAN-to-LAN VPN トンネル上の syslogs を送信し、内部インターフェイス IP アドレスからそれらの syslogs をソースをたどるために記述されています。

## Q. どのように VPN トンネルに送信される syslogs のための ASA ソースインターフェイスを規定できますか。

A.

トンネルに送信される syslog トラフィックのソースをたどるために**管理アクセス** コマンドを入力しなさいインターフェイスを規定 するため。

システムにこのトポロジーおよび設定がある場合、続くコマンドを入力して下さい。

```
ASA# show run logging
logging enable
logging timestamp
logging trap debugging
logging host outside 198.51.100.123
```

この ASA の外部 IP アドレスから syslog トラフィックのソースをたどる設定の試行。これはトンネル上のトラフィックを暗号化するために外部 IP アドレスが暗号 access-list に追加されることを必要とします。このコンフィギュレーション変更は特に syslog サーバ サブネットに向かう内部インターフェイス IP アドレスから送信されるトラフィックが既に暗号 access-list によって encrypted ために設定されていれば最適ではないかもしれません。

ASA は**管理アクセス** コマンドで規定されるインターフェイスからの VPN トンネルに送信され

るべきサーバに向かう syslog トラフィックのソースをたどるために設定することができます。

この特定の例のためのこの設定を設定するために、最初に現在の logging host 設定を取除いて下さい:

```
ASA# show run logging
logging enable
logging timestamp
logging trap debugging
logging host outside 198.51.100.123
```

規定される 内部インターフェイスが付いているログ収集サーバおよび管理アクセス コマンドを再挿入して下さい:

```
ASA# show run logging
logging enable
logging timestamp
logging trap debugging
logging host outside 198.51.100.123
```

## 関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)